

03. ≫ 合同会社 HOMARE

秋田の工芸品 本荘ごてんまりに魅せられ、事業化へ 伝統を紡いでいく

作品から商品へ
本荘ごてんまりの
魅力を海外に発信



代表 荒谷 はるか

合同会社 HOMARE
〒010-1414
秋田市御所野元町6-8-1
TEL:018-838-1508
<https://www.homare.life/>



HP



前職で、本荘ごてんまりと出会う

秋田市で企画クリエイティブ事業や手しごとプロデュース事業を手掛ける合同会社HOMAREの代表・荒谷はるかさん。由利本荘市の伝統工芸・本荘ごてんまりをプロデュースする2つのブランドを立ち上げている。

秋田市内の広告会社で行政案件などを手掛けていた荒谷さんは、平成30年に担当した移住促進の案件で、県内工芸品の体験ツアーを企画。首都圏の女性たちを本荘ごてんまり作家である阿部登志子さんの元へアテンドしたことが大きな転機となった。もちろん存在は認識していたが、実物を見てさまざまなデザインや大きさがあることを知り、鞠の魅力に衝撃を受けた。同行した首都圏の女性たちの反応も良く、大興奮だったという。しかし、本荘ごてんまりは地域の女性たちが作る「工芸品」であり、担い手も減っている。この素晴らしい伝統を事業化して残したいという思いが、ふつふつと荒谷さんの中で芽生えていった。

県外や海外をターゲットとしたブランド戦略

本荘ごてんまりを事業化したい。その思いから翌年には勤めていた企業を退職した。また、同時期に美郷町に移住したクリエイターである和井内京子さんとの出会いもあった。欧州での実績を持つ和井内さんが、本荘ごてんまりのアートディレクションを行うこととなった。

立ち上げたブライダルブランド『えにし』と香り袋をあしらったインテリア需要のブランド『香毯』は、県内だけではなく都内でも導入実績が出ている。今後はマーケティングで高評価を得た海外もターゲットとして、販売強化していく予定だ。活性化センターには価格設定や営業戦略について相談し、パンフレットなどの営業ツールのデザインについて支援を受けた。

「商品開発と販路拡大は素人同然。客観的なアドバイスが非常にありがたい」と笑顔を見せる荒谷さん。自身が魅せられた伝統工芸を未来に残すため、焦らず少しずつ事業を強いものにしたいと意気込みを語っていた。



ブライダル向けの「えにし」では、貸衣装などでの需要を見込んだ商品の開発を行っている。



本荘ごてんまりは全てが手作業。阿部登志子さんを講師とした出張教室を定期的に開催。



伝統の技法や意匠はそのままに、糸の色の組み合わせを変えたデザインで商品化を行っている。